

2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 ニッケ(日本毛織株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 3201 URL https://www.nikke.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 長岡 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略センター経理室長(氏名) 石田 保史 TEL 06-6205-6635  
 四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	24,801	△2.8	1,888	△1.0	2,111	3.9	1,809	24.4
2023年11月期第1四半期	25,520	△0.3	1,908	△19.0	2,031	△23.3	1,454	△19.7

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 3,315百万円(31.9%) 2023年11月期第1四半期 2,514百万円(16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	26.25	—
2023年11月期第1四半期	20.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第1四半期	165,752	115,944	69.4	1,668.27
2023年11月期	166,129	114,135	68.1	1,638.62

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 114,973百万円 2023年11月期 113,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	14.00	—	19.00	33.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	16.00	—	20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△2.2	11,000	△0.1	11,600	△0.3	7,700	0.7	111.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2023年12月12日発表の適時開示の通り、当事業年度にて自己株式の取得を実施いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 0社 (社名) 、除外 0社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期 1 Q	76,278,858株	2023年11月期	78,478,858株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	7,361,018株	2023年11月期	9,427,728株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年11月期 1 Q	68,929,069株	2023年11月期 1 Q	70,694,582株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN（リニューアル・ニッケ）130ビジョン（2017～2026年度）」（以下「RN130ビジョン」という）において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、永続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の最終フェーズとなる「RN130第3次中期経営計画（2024～2026年度）」の初年度となります。現在の不確実な事業環境下においても、足元の状況のみに左右されず中長期的かつグローバルな目線でリスクに対処するとともに、これらの変化をチャンスと捉え各種施策を実行しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高24,801百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益1,888百万円（前年同期比1.0%減）、経常利益2,111百万円（前年同期比3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,809百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

収益性と事業リスクを考慮し、当期から人とみらい開発事業の通信・新規サービス分野を縮小したこと等の影響で、売上高は減収となるも、営業利益は前年同期並みとなりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

#### ①衣料繊維事業

衣料繊維事業の当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高6,433百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益275百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

（ユニフォーム分野）

学校制服用素材販売は、アパレルの早期備蓄対応により好調でした。官公庁制服用、一般企業制服用素材は、ともに前年同期並みでした。

（テキスタイル分野）

一般衣料用素材は、国内販売は顧客の在庫調整の影響を受け低調でした。海外販売は、欧州向け生地の販売が減少したことにより、不調でした。

（ヤーン分野）

売糸は、ニット関連の販売が増加したことにより好調でした。

#### ②産業機材事業

産業機材事業の当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高5,125百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益35百万円（前年同期比39.6%減）となりました。

（自動車関連分野）

車両向けの不織布や縫製糸・結束紐などは、自動車生産台数の減少により不調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備の販売は、顧客からの受注・引合いが回復傾向にあり好調でした。

（環境関連分野）

フィルター資材などの環境・エネルギー関連資材は、顧客の在庫調整の影響を受け不調でした。

（その他産業関連分野）

半導体関連装置や画像検査装置は、部材不足により客先への納品遅れが生じ低調でした。OA向け資材、その他工業用資材は、顧客の在庫調整の影響を受け不調でした。

（生活関連分野）

ラケットスポーツ関連はバドミントンガットが市況回復したことに加え新商品が好評であることから、好調でした。フィッシング関連は、コロナ特需後の市況悪化により低調でした。生活関連資材は、中国市況低迷の影響を受け、楽器用フェルトの受注が不調でした。

### ③人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高6,308百万円(前年同期比23.8%減)、営業利益1,661百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、コルトンプラザのリニューアル効果が継続していることに加え、コロナ禍の影響も軽減され好調でした。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメントおよびコンサルティング業務は、前年同期並みでした。

(不動産開発分野)

不動産賃貸事業は、前年同期を上回りました。ソーラー事業、建設関連は低調でした。

(ライフサポート分野)

保育関連は前年同期並みでした。介護関連は、コロナ禍の影響は継続していますが利用者・入所者数が徐々に回復しており堅調でした。スポーツ関連は、首都圏エリアで来場者が増加しており堅調でした。

(通信及び新規サービス分野)

通信・新規サービス分野は、収益性と事業リスクを考慮し当期から事業を縮小しております。

### ④生活流通事業

生活流通事業の当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高5,966百万円(前年同期比20.1%増)、営業利益315百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

当期からサンコー株式会社、株式会社インテリアオフィスワンの2社が通期連結を開始していることが寄与し前年同期比では大幅な増収となりましたが、原材料費の高騰による仕入価格の上昇、激化しているEC事業等での広告宣伝費および物流費の上昇が継続しており、業績に影響を与えております。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品はEC向け販売が低調でした。業務用品は、航空機内膝掛けが好調でしたが、防疫品の販売が大幅に減少したことなどから不調でした。

(生活雑貨分野)

100円ショップ向け等の雑貨販売は不調でした。家具類販売は、前期より株式会社インテリアオフィスワンがグループに加わったことから好調でした。EC向け生活家電販売も前期よりグループに加わったサンコー株式会社が寄与し好調でした。またフィルム関連については、携帯電話の新規販売台数の鈍化に連動し低調でした。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、オリジナルスタンプ等が貢献したもののインクパッドや年賀商材の販売減により不調でした。スタンプ用インクの販売は、国内販売については不調でしたが、海外販売が好調でした。また乗馬用品販売は好調でした。

(その他)

保険代理店の経営成績は前年同期並みでした。コンテナ販売は、新商品のバイクコンテナの販売増により大幅な増収となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月12日公表の予想数値より変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,349	32,655
受取手形、売掛金及び契約資産	27,191	24,456
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	16,499	18,102
仕掛品	7,247	7,618
原材料及び貯蔵品	2,846	3,014
その他	2,803	2,667
貸倒引当金	△113	△97
流動資産合計	92,823	90,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,857	23,457
機械装置及び運搬具（純額）	5,380	5,184
土地	14,847	14,825
建設仮勘定	960	1,256
その他（純額）	625	608
有形固定資産合計	45,672	45,331
無形固定資産		
のれん	954	881
その他	818	816
無形固定資産合計	1,773	1,697
投資その他の資産		
投資有価証券	22,489	24,703
長期貸付金	2	3
破産更生債権等	52	52
長期前払費用	317	282
退職給付に係る資産	612	611
繰延税金資産	1,098	1,352
その他	1,368	1,381
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	25,860	28,306
固定資産合計	73,306	75,335
資産合計	166,129	165,752

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,115	10,089
短期借入金	12,555	13,598
1年内償還予定の社債	91	47
未払法人税等	1,890	376
賞与引当金	1,610	935
その他の引当金	58	52
その他	7,936	6,408
流動負債合計	34,258	31,508
固定負債		
社債	62	76
長期借入金	1,966	1,621
繰延税金負債	4,864	5,773
退職給付に係る負債	2,470	2,468
長期預り敷金保証金	6,547	6,589
資産除去債務	284	284
その他	1,538	1,485
固定負債合計	17,735	18,299
負債合計	51,993	49,808
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	3,997	3,985
利益剰余金	101,845	100,447
自己株式	△8,110	△6,382
株主資本合計	104,198	104,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,684	9,211
繰延ヘッジ損益	226	127
為替換算調整勘定	882	954
退職給付に係る調整累計額	156	163
その他の包括利益累計額合計	8,950	10,456
非支配株主持分	987	971
純資産合計	114,135	115,944
負債純資産合計	166,129	165,752

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	25,520	24,801
売上原価	17,979	17,827
売上総利益	7,540	6,974
販売費及び一般管理費	5,632	5,086
営業利益	1,908	1,888
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	204	236
為替差益	-	29
持分法による投資利益	0	6
その他	78	31
営業外収益合計	289	310
営業外費用		
支払利息	21	15
為替差損	12	-
デリバティブ損失	78	-
租税公課	7	11
社宅経費	21	19
その他	23	40
営業外費用合計	166	87
経常利益	2,031	2,111
特別利益		
固定資産売却益	-	28
投資有価証券売却益	22	-
受取補償金	50	-
特別利益合計	72	28
特別損失		
事業構造改善費用	25	-
特別損失合計	25	-
税金等調整前四半期純利益	2,079	2,140
法人税、住民税及び事業税	531	306
法人税等調整額	106	20
法人税等合計	638	326
四半期純利益	1,440	1,813
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,454	1,809

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,440	1,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,146	1,526
繰延ヘッジ損益	△50	△103
為替換算調整勘定	△28	71
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	1,074	1,502
四半期包括利益	2,514	3,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,526	3,316
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、2023年12月28日付で自己株式2,200,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が12百万円、利益剰余金が1,895百万円、自己株式が1,907百万円それぞれ減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,985百万円、利益剰余金が100,447百万円、自己株式が6,382百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

連結子会社である㈱三和フェルトおよび日本フェルト工業㈱は、2023年12月1日付で㈱三和フェルトを存続会社とする吸収合併を行っております。なお、㈱三和フェルトは同日付で㈱ファンズプレジジョンに社名変更しております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,975	5,422	8,277	4,967	24,642	878	—	25,520
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	423	29	168	11	633	0	△633	—
計	6,398	5,452	8,445	4,979	25,275	878	△633	25,520
セグメント利益	356	58	1,556	310	2,281	11	△384	1,908

- (注) 1. セグメント利益の調整額△384百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△388百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,433	5,125	6,308	5,966	23,834	967	—	24,801
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	25	174	13	310	—	△310	—
計	6,531	5,150	6,483	5,979	24,145	967	△310	24,801
セグメント利益	275	35	1,661	315	2,287	32	△431	1,888

- (注) 1. セグメント利益の調整額△431百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△436百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	5,955	5,369	7,461	4,967	23,753	878	24,631
(2)その他の収益(注2)	19	53	815	—	889	—	889
計	5,975	5,422	8,277	4,967	24,642	878	25,520

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から生じる収益	6,414	5,071	5,454	5,966	22,906	967	23,874
(2)その他の収益(注2)	19	53	854	—	927	—	927
計	6,433	5,125	6,308	5,966	23,834	967	24,801

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。